

病院の保育所で 園児に食農教育

神奈川県・
JA相模原市

【神奈川県・相模原】

JA相模原市は相模原協同病院と一緒に、病院敷地内にある保育所で、園児の食農教育に取り組んでいる。昨年の夏野菜に加え、今年からはサツマイモ栽培を開始。5月下旬に園児5人と保育士らが苗13



JA職員と一緒にサツマイモ苗を定植する園児（神奈川県相模原市で）

0本を定植した。

敷地内の空き地をJAと病院の職員が協力して耕し、新たに約40平方メートルの畑を作った。園児は土の感触や温度に驚き、虫に興味を示しながら楽しんだ。秋には芋掘り大会を開き、園児や保護者にも農業に親しむ機会を提供する予定だ。

保育士の小野沢保さん（42）は「畑は子どもたちの五感を刺激し、心身の成長につながっている。収穫を喜ぶ子どもたちや家族の姿が今から楽しみだ」と期待する。

JA指導販売課の川村百合子さんは「家族や病院を巻き込みながら取り組みが広がり、手応えを感じている。JAグループの連携を生かした食農教育で、食や命の大切さを伝えていけたら」と話す。